



2025年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月13日

上場会社名 株式会社アイキューブドシステムズ 上場取引所 東
コード番号 4495 URL <https://www.i3-systems.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 CEO (氏名) 佐々木 勉
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 増田 恵美子 (TEL) 092-552-4358
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期第1四半期の連結業績(2024年7月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第1四半期	903	29.7	211	54.1	212	54.8	148	58.8
2024年6月期第1四半期	697	5.9	137	△17.3	137	△16.8	93	△16.8

(注) 包括利益 2025年6月期第1四半期 153百万円(64.8%) 2024年6月期第1四半期 93百万円(△16.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第1四半期	29.09	28.84
2024年6月期第1四半期	17.67	17.50

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第1四半期	3,372	2,570	75.9
2024年6月期	3,609	2,579	71.2

(参考) 自己資本 2025年6月期第1四半期 2,560百万円 2024年6月期 2,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2025年6月期	—	—	—	—	—
2025年6月期(予想)	—	0.00	—	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年6月期の連結業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,503	18.8	809	17.0	786	17.7	539	16.5	105.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年6月期1Q	5,303,750株	2024年6月期	5,303,750株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年6月期1Q	200,168株	2024年6月期	200,168株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年6月期1Q	5,103,582株	2024年6月期1Q	5,292,793株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、パーパスを「笑顔につながる、まだ見ぬアイデア実現の母体となる」、提供価値を「デザインとエンジニアリングの力で、挑戦を支える」と定義した上で、「挑戦を、楽しもう。」をブランドスローガンに掲げ、挑戦的な文化を醸成し、ITを軸とした様々な挑戦を積極的に進めていく企業を目指しております。

事業内容としては、企業、教育、医療の現場で活用されるモバイル端末の一元管理・運用を行うSaaS（Software as a Service）を提供する「CLOMO事業」を主軸に展開しております。また、CVC（コーポレートベンチャーキャピタル）やM&Aを通じた投資活動により、グループの持続的成長とスタートアップ企業の新たな価値創造を支える「投資事業」を運営しております。

組織面では、様々なライフイベントに応じた柔軟な働き方を実現するための各種制度を設け、性別や国籍を問わない採用活動により、多様性のある組織づくりを推進しております。また、人材育成のための研修などの成長支援を通じて、挑戦を積極的に行う文化の醸成に取り組んでおります。このような取り組みの結果、Great Place to Work® Institute Japanが世界共通の基準で従業員の意識調査を行う、2025年版「働きがいのある会社」ランキングにおいて、5年連続で働きがいのある会社として認定されております。

当第1四半期連結累計期間においては、中期売上目標の達成を目指し、組織体制の強化に取り組みました。具体的には、CLOMO事業における機動的な成長戦略の推進を目的とした組織再編を行いました。さらに、新規事業創出に向けた取り組みを加速させるべく、新たに専門部署を設置しました。

経営成績の状況について、売上高は、CLOMO事業でOEM提供による新規顧客の獲得が進んだことに加え、投資事業で営業投資有価証券の売却による売上が発生し、前年同期比で増加しました。売上原価は、CLOMO事業でソフトウェアに対する顧客からの要望に応じ、一部の軽微な改修を優先した結果、製品リリースが減少し、それに伴って減価償却費も減少しましたが、投資事業における売上原価の発生により、全体としては前年同期比で増加しました。販売費及び一般管理費については、積極的な採用活動に加え、2024年4月に完全子会社化した10KN COMPANY LIMITEDの損益計算書を当第1四半期連結累計期間から連結対象に含めたことによる人件費の増加が主な要因となり、前年同期比で増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高903,896千円（前年同期比29.7%増）、営業利益211,524千円（前年同期比54.1%増）、経常利益212,751千円（前年同期比54.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益148,460千円（前年同期比58.8%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① CLOMO事業

CLOMO事業においては、2010年から提供を開始したモバイル端末管理ソフトウェアサービス「CLOMO MDM」及びモバイル端末向けアプリサービス「CLOMO SECURED APPs」（以下、CLOMOサービスとする。）を事業の主軸に、クラウドを利用したB to BのSaaS事業をサブスクリプションの形で提供しており、2023年12月に公表されたMDM市場（自社ブランド）シェアにおいて、2011年度から13年連続でシェアNo. 1を達成しました（注1）。さらに、CLOMOサービスは2024年2月に「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）（注2）」に登録され、政府が求める高いセキュリティ水準をクリアしたサービスとして認められております。

当第1四半期連結累計期間においては、引き続き、既存及び新規の販売パートナーとの連携を強化し、販売網を強化・拡大しております。また、自社ブランド製品であるCLOMO MDMの販売に加え、OEM製品の展開にも取り組んでおり、株式会社NTTドコモが提供するMDMサービス「あんしんマネージャーNEXT（注3）」へのOEM提供を行っております。同サービスの成長に伴い、CLOMO事業の顧客基盤は着実に拡大しており、前第1四半期連結累計期間の純増導入法人数385社に対して、当第1四半期連結累計期間の純増導入法人数は518社となりました。

また、CLOMO事業のさらなる成長に向け、顧客基盤の拡大に加えて、ARPU（注4）の向上が重要であるため、オプションサービスの拡充戦略を推進しております。具体的には、セキュリティ対策製品や運用支援サービスなど、MDMの周辺サービスをラインナップし、クロスセルを通じたARPUの向上に取り組んでおります。

製品開発においては、CLOMOサービスのPC資産管理市場でのシェア獲得に必要となるWindows端末向けの機能強化のほか、他社製品との連携、オプションサービスの機能拡充など、顧客のニーズに応えるための開発活動に注力しております。

これらの取り組みにより、導入法人数は7,228社（前連結会計年度末に比べ518社、7.7%増）に達しました。

この結果、売上高は782,905千円（前年同期比12.3%増）、営業利益は194,784千円（前年同期比37.6%増）となりました。

なお、サービス別の内訳は次のとおりであります。

CLOMO MDM	売上高	710,187千円
SECURED APPs	売上高	37,948千円
その他	売上高	34,770千円

② 投資事業

投資事業では、ベンチャーキャピタル子会社である株式会社アイキューブドベンチャーズを通じてアイキューブド1号投資事業有限責任組合を設立し、CVCとして投資活動を推進しております。

主な投資対象はモバイル、SaaS、セキュリティ等、当社事業領域と親和性の高い企業、社会課題解決型企業及び当社グループが本社を置く九州の地場で活動している企業としております。また、当社グループの新たな市場領域への進出及び収益源の創出を図るべく、M&Aを通じた新事業開発にも積極的に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間末時点の累計投資社数は7社となっております。また、アイキューブド1号投資事業有限責任組合における営業投資有価証券の売却による収益を当第1四半期連結累計期間において計上しました。

この結果、売上高は120,991千円（前年同期は一千円）、営業利益は16,739千円（前年同期は営業損失4,289千円）となりました。

- (注) 1. 出典 デロイト トーマツ ミック経済研究所「コラボレーション/コンテンツ・モバイル管理パッケージソフトの市場展望 (<https://mic-r.co.jp/mr/00755/>)」2011～2013年度出荷金額、「MDM自社ブランド市場（ミックITレポート12月号: <https://mic-r.co.jp/micit/2023/>)」2014～2022年度出荷金額・2023年度出荷金額予測。
2. 政府が求めるセキュリティ要求を満たしているクラウドサービスを予め評価・登録することにより、政府のクラウドサービス調達におけるセキュリティ水準の確保を図り、円滑に導入できることを目的とした制度です。本制度は「政府情報システムにおけるクラウドサービスのセキュリティ評価制度の基本的枠組みについて」（2020年1月30日サイバーセキュリティ戦略本部決定）に基づき、内閣サイバーセキュリティセンター・デジタル庁・総務省・経済産業省が運営しています。
3. 株式会社NTTドコモが提供しているモバイル端末管理サービスです。主に、社員・生徒に貸与したモバイル端末に対して紛失・盗難時に有効な「ロック/初期化」機能や、「カメラ制御」「利用可能アプリの制限」などのセキュリティ機能、「アプリ配信」などのデバイス管理業務効率化機能を備えています。
4. Average Revenue Per Userの略称であり、導入法人数当たりの平均月間単価。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における財政状態については次のとおりであります。

(資産)

総資産は3,372,456千円となり、前連結会計年度末に比べ236,782千円の減少となりました。これは主に現金及び預金が111,499千円、営業投資有価証券が99,992千円、ソフトウェアが62,657千円減少し、ソフトウェア仮勘定が52,870千円、投資その他の資産が17,260千円増加したことによるものです。

(負債)

負債は801,813千円となり、前連結会計年度末に比べ227,860千円の減少となりました。これは主に未払法人税等が118,618千円、賞与引当金が39,124千円、契約負債が35,558千円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産は2,570,643千円となり、前連結会計年度末に比べ8,921千円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が148,460千円増加し、剰余金の配当に伴い利益剰余金が163,314千円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は75.9%（前連結会計年度末は71.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年6月期の連結業績予想につきましては、2024年8月14日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,812,591	1,701,091
売掛金	332,127	321,965
営業投資有価証券	265,391	165,398
その他	115,215	95,782
流動資産合計	2,525,326	2,284,238
固定資産		
有形固定資産	44,061	43,208
無形固定資産		
ソフトウェア	246,828	184,170
ソフトウェア仮勘定	103,978	156,848
のれん	133,248	131,151
その他	7,417	7,200
無形固定資産合計	491,473	479,371
投資その他の資産	548,377	565,637
固定資産合計	1,083,912	1,088,218
資産合計	3,609,238	3,372,456
負債の部		
流動負債		
買掛金	46,590	44,415
未払法人税等	189,136	70,518
契約負債	483,634	448,075
賞与引当金	89,506	50,381
その他	220,805	188,421
流動負債合計	1,029,673	801,813
負債合計	1,029,673	801,813
純資産の部		
株主資本		
資本金	413,018	413,018
資本剰余金	313,018	313,018
利益剰余金	2,151,179	2,136,325
自己株式	△299,174	△299,174
株主資本合計	2,578,042	2,563,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,090	1,090
為替換算調整勘定	△8,944	△3,584
その他の包括利益累計額合計	△7,854	△2,494
新株予約権	6,486	7,114
非支配株主持分	2,890	2,834
純資産合計	2,579,565	2,570,643
負債純資産合計	3,609,238	3,372,456

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
売上高	697,023	903,896
売上原価	191,047	292,968
売上総利益	505,976	610,928
販売費及び一般管理費	368,754	399,403
営業利益	137,222	211,524
営業外収益		
受取利息	12	148
その他	913	1,084
営業外収益合計	926	1,233
営業外費用		
その他	679	6
営業外費用合計	679	6
経常利益	137,469	212,751
税金等調整前四半期純利益	137,469	212,751
法人税等	44,026	64,146
四半期純利益	93,442	148,605
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△65	144
親会社株主に帰属する四半期純利益	93,508	148,460

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
四半期純利益	93,442	148,605
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	5,359
その他の包括利益合計	—	5,359
四半期包括利益	93,442	153,964
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,508	153,820
非支配株主に係る四半期包括利益	△65	144

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	CLOMO事業	投資事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	697,023	—	697,023	697,023
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	697,023	—	697,023	697,023
セグメント利益 又は損失(△)	141,511	△4,289	137,222	137,222

(注)セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	CLOMO事業	投資事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	782,905	120,991	903,896	903,896
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	782,905	120,991	903,896	903,896
セグメント利益	194,784	16,739	211,524	211,524

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	87,670千円	77,887千円
のれんの償却額	—千円	6,717千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。